# KV-700/1000/3000/5000 イーサネットドライバ

1	システム構成	3
2	接続機器の選択	5
3	通信設定例	6
4	設定項目	34
5	使用可能デバイス	42
6	デバイスコードとアドレスコード	48
7	エラーメッセージ	51

## はじめに

本書は表示器と接続機器(対象 PLC)を接続する方法について説明します。 本書では接続方法を以下の順に説明します。



# 1 システム構成

(株)キーエンス製接続機器と表示器を接続する場合のシステム構成を示します。

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例
	KV-700	KY LE20A	イーサネット (UDP)	設定例1(6 ページ)
		KV-LE20A	イーサネット (TCP)	設定例2(8 ページ)
		KVIE20V <sup>1</sup>	イーサネット (UDP)	設定例 5 (14 ページ)
		KV-LE20V	イーサネット (TCP)	設定例 6 (16 ページ )
		KV I E20A	イーサネット (UDP)	設定例 3 (10 ページ)
KV 1000 St 11 - 7	KV 1000	KV-LE20A	イーサネット (TCP)	設定例 4 (12 ページ )
	K V-1000		イーサネット (UDP)	設定例 5 (14 ページ)
		KV-LE20V	イーサネット (TCP)	設定例 6 (16 ページ )
	KV-3000	KV-LE20V <sup>1</sup>	イーサネット (UDP)	設定例 7 (18 ページ)
KV-3000 2 J - X			イーサネット (TCP)	設定例 8 (20ページ)
	KV-5000		イーサネット (UDP)	設定例 7 (18 ページ)
		KV-LE20V	イーサネット (TCP)	設定例 8 ( 20 ページ )
KV-5000 9 9 - X			イーサネット (UDP)	設定例 9 ( 22 ページ )
			イーサネット (TCP)	設定例 10 ( 24 ページ )
	KV-5500	$K_{\rm M}$ I E21 ${\rm M}^{-2}$	イーサネット (UDP)	設定例 11 ( 26 ページ )
		KV-LE21V	イーサネット (TCP)	設定例 12 ( 28 ページ )
NV-0000シリース			イーサネット (UDP)	設定例 13 (30ページ)
		CPU 上の1 ー サネットホート <sup>2</sup>	イーサネット (TCP)	設定例 14 (32ページ)

1 通信設定には KV STUDIO Ver.4 以降のラダーソフトが必要です。

2 通信設定には KV STUDIO Ver.6 以降のラダーソフトが必要です。

GP-Pro EX 機器接続マニュアル

# 接続構成

1:1 接続



10BASE-T/100BASE-TX

• 1:n 接続

 最大32台(UDP/IP接続時)

 最大16台(TCP/IP接続時)

 表示器
 接続機器

 接続機器
 接続機器

10BASE-T/100BASE-TX

• n:1 接続



# 2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。

🏄 ようこそ GP-Pro EX ヘ		×
67-7ro <b>E</b> X	接続機器設定	
	接続機器1	
	メーカー (株)キーエンス	-
	シリーズ KV-700/1000/3000/5000 Ethernet	<b>•</b>
	ポート イーサネット(UDP)	▼
	この接続機器のマニュアルを見る	
	最近使った接続機器	
		F
	□ システムエリアを使用する	<u> 機器接続マニュアルへ</u>
	<b>戻る(日) 通信設定</b> ロジック画面作	成 ペース画面作成 キャンセル

設定項目	設定内容
接続機器数	設定するシリーズ数を「1~4」で入力します。
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「(株)キーエンス」を選択します。
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「KV-700/1000/ 3000/5000 Ethernet」を選択します。 「KV-700/1000/3000/5000 Ethernet」で接続できる接続機器はシステム構成で確認し てください。 <sup>(デ</sup> 「1システム構成」(3ページ)
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。
	表示器のシステムデータエリアと接続機器のデバイス(メモリ)を同期させる場合にチェックします。同期させた場合、接続機器のラダープログラムで表示器の 表示を切り替えたりウィンドウを表示させることができます。
システムエリアを使用	参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方 式専用エリア )」
する	この設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードでも設定できます。
	参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「本体設定(システムエリア設定) の設定ガイド」
	参照 : 保守 / トラブル解決ガイド「本体設定・システムエリア設定」

# 3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

3.1 設定例1

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1	
概要	<u>接続機器変更</u>
メーカー ((株)キーエンス	シリーズ KV-700/1000/3000/5000 Ethernet ポート イーサネット(UDP)
文字列データモード 2 変更	
通信設定	
ポート番号 1024 🛨	
タイムアウト 3 🛨 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 🛛 📑 (ms)	初期設定
機器別設定	
接続可能台数 32台 <u>機器を追加</u>	
No 機器名 静定	間接機器
I         PLC1         I         DU−ズ=KV-7	19月10 00/1000.IPアドレス=192.168.000.001.ボ

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [ff ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設	定			×
PLC1				
シリーズ シリーズを変更 いるアドレスを評	KV-700 した場合 再確認し	)/1000 には、す こてくださ	でに使月 い。	▼ 見ざれて
IPアドレス	192.	168.	0.	1
ポート番号	8501			<u>.</u>
			初期	設定
0	K( <u>O</u> )		キャンセ	214

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

接続機器の通信設定は設定ツール (KV BUILDER/Ver4.70) で設定します。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

1 設定ツールを起動します。

- 2 [ファイル] メニューから [新規プロジェクトの作成]を選択し、プロジェクト名を付けた後、[OK] をクリックします。
- 3 [機種変更]ダイアログボックスで、拡張メモリが付いている場合は「KV-700+M」を、拡張メモリが 付いていない場合は「KV-700」を選択し、[OK]をクリックします。
- 4 表示されるダイアログボックスで [はい]をクリックしてユニットエディタへ移行します。
- 5 [ユニット選択 (2)] タブをクリックし、「KV-LE20A」を選択して CPU とエンドユニットの間にド ラッグ&ドロップします。
- 6 KV-LE20A を選択したまま、[ユニット設定 (3)] タブに切り換えて以下のように設定します。

設定項目	設定値
先頭 DM 番号	DM10000
通信速度	100/10 Mbps 自動
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
ポート番号(上位リンク)	8501

- 7[ファイル]メニューから[保存して終了]を選択し、エディタモードに戻ります。
- 8 [モニタ・シミュレータ]メニューから [変換 転送 モニタ]を選択します。
- 9 [ユニット設定情報]をチェックし、[実行]をクリックします。設定情報が転送されます。

これで接続機器の設定は完了です。

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

## 3.2 設定例 2

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1
概要 <u>接続機器変更</u>
メーカー (株)キーエンス シリーズ (KV-700/1000/3000/5000 Ethernet ポート イーサネット(TCP)
文字列データモード 2 変更
通信設定
ポート番号 1024 💼 🔽 自動割当
ቃኅፊምウト 3 🛨 (sec)
IJŀ <del>5</del> 7 <u>2 <del>±</del></u>
送信ウェイト 0 🛨 (ms) 初期設定
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>

## 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

👏 個別機器設	定			×
PLC1				
シリーズ シリーズを変更 いるアドレスを	KV-700 [した場合  再確認し	)/1000 ;は、すて ;てください	でに使用 No	▼ 見されて
IPアドレス ポート番号	192. 8501	168.	0.	1
10 I E 13			初期	
	) K( <u>O</u> )		キャンセ	206

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

接続機器の通信設定は設定ツール (KV BUILDER/Ver4.70) で設定します。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

1 設定ツールを起動します。

- 2 [ファイル] メニューから [新規プロジェクトの作成]を選択し、プロジェクト名を付けた後、[OK] をクリックします。
- 3 [機種変更]ダイアログボックスで、拡張メモリが付いている場合は「KV-700+M」を、拡張メモリが 付いていない場合は「KV-700」を選択し、[OK]をクリックします。
- 4 表示されるダイアログボックスで [はい]をクリックしてユニットエディタへ移行します。
- 5 [ユニット選択 (2)] タブをクリックし、「KV-LE20A」を選択して CPU とエンドユニットの間にド ラッグ&ドロップします。
- 6 KV-LE20A を選択したまま、[ユニット設定(3)] タブに切り換えて以下のように設定します。

設定項目	設定値
先頭 DM 番号	DM10000
通信速度	100/10 Mbps 自動
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
ポート番号(上位リンク)	8501

- 7 [ファイル]メニューから[保存して終了]を選択し、エディタモードに戻ります。
- 8 [モニタ・シミュレータ]メニューから [変換 転送 モニタ]を選択します。
- 9 [ユニット設定情報]をチェックし、[実行]をクリックします。設定情報が転送されます。

これで接続機器の設定は完了です。

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

## 3.3 設定例 3

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー ((株)キーエンス シ	リーズ KV-700/1000/3000/5000 Ethernet ポート イーサネット(UDP)
文字列データモード 2 変更	
通信設定	
ポート番号 1024 芸	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 芸	
送信ウェイト 🛛 🕂 (ms)	初期最定
機器別設定	
接続可能台数 32台 <u>機器を追加</u>	
No 機器名 - 設定	間接機器
1 PLC1 III シリーズ=KV-700/	/1000.IPアドレス=192.168.000.001,ポ 4

### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設	定			×
PLC1				
シリーズ シリーズを変更 いるアドレスを評	KV-700 した場合 再確認し	)/1000 ;は、すて ,てください	でに使用 V。	■ 見ざれて
IPアドレス	192.	168.	0.	1
ボート番号	8501			
			初期	設定
0	K( <u>O</u> )		キャンセ	91

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

接続機器の通信設定は設定ツール (KV STUDIO/Ver2.50) で設定します。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

- 1 設定ツールを起動します。
- 2 [ファイル] メニューから [ プロジェクトの新規作成 ] を選択し、プロジェクト名を付けた後、[OK] をクリックします。
- 3 表示されるダイアログボックスで[はい]をクリックしてユニットエディタへ移行します。
- 4 [ユニット選択 (2)] タブをクリックし、「KV-LE20A」を選択して CPU とエンドユニットの間にド ラッグ&ドロップします。
- 5 KV-LE20A を選択したまま、[ユニット設定 (3)] タブに切り換えて以下のように設定します。

設定項目	設定値
先頭 DM 番号	DM10000
通信速度	100/10 Mbps 自動
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
ポート番号(上位リンク)	8501

- 6[ファイル]メニューから[保存して終了]を選択し、エディタモードに戻ります。
- 7[モニタ・シミュレータ]メニューから[変換 転送]を選択します。
- 8 [ユニット設定情報]をチェックし、[実行]をクリックします。設定情報が転送されます。

これで接続機器の設定は完了です。

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

## 3.4 設定例 4

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1
概要
メーカー (株)キーエンス シリーズ (KV-700/1000/3000/5000 Ethernet ポート イーサネット(TCP)
文字列データモード 2 変更
通信設定
ポート番号 1024 💼 🔽 自動割当
ቃብሬምሳኑ <u>3</u> (sec)
UF51 2 🗄
送信ウェイト 0 🛨 (ms) 初期設定
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>

## 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設	定			×
PLC1				
シリーズ シリーズを変更 いるアドレスをP	KV-700 した場合 再確認し	)/1000 ;は、すて ,てください	でに使用 No	▼
IPアドレス	192.	168.	0.	1
ポート番号	8501			
			初期	設定
0	K( <u>O</u> )		キャンセ	91

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

接続機器の通信設定は設定ツール (KV STUDIO/Ver2.50) で設定します。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

- 1 設定ツールを起動します。
- 2 [ファイル] メニューから [ プロジェクトの新規作成 ] を選択し、プロジェクト名を付けた後、[OK] をクリックします。
- 3 表示されるダイアログボックスで[はい]をクリックしてユニットエディタへ移行します。
- 4 [ユニット選択 (2)] タブをクリックし、「KV-LE20A」を選択して CPU とエンドユニットの間にド ラッグ&ドロップします。
- 5 KV-LE20A を選択したまま、[ユニット設定 (3)] タブに切り換えて以下のように設定します。

設定項目	設定値
先頭 DM 番号	DM10000
通信速度	100/10 Mbps 自動
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
ポート番号(上位リンク)	8501

- 6[ファイル]メニューから[保存して終了]を選択し、エディタモードに戻ります。
- 7[モニタ・シミュレータ]メニューから[変換 転送]を選択します。
- 8 [ユニット設定情報]をチェックし、[実行]をクリックします。設定情報が転送されます。

これで接続機器の設定は完了です。

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

## 3.5 設定例 5

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1
概要 <u>接続機器変更</u>
メーカー (株)キーエンス シリーズ (KV-700/1000/3000/5000 Ethernet ポート (イーサネット(UDP)
文字列データモード 2 変更
通信設定
术-卜番号 1024 🛨
タイムアウト 3 <u>:</u> (sec)
ук <del>э</del> л <u>2</u>
送信ウェイト 🛛 🛨 (ms) 初期設定
接続可能台数 32台 <u>機器を追加</u>

### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設	定			×
PLC1				
シリーズ シリーズを変更 いるアドレスを配	KV-700 した場合 再確認し	)/1000 )は、すて )てください	でに使用 V。	■ 見されて
IPアドレス	192.	168.	0.	1
ポート番号	8501			
			初期	設定
0	K( <u>O</u> )		キャンセ	<u>)</u>

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

接続機器の通信設定はラダーソフト (KV STUDIO Ver.4 以降) で設定します。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 ラダーソフトを起動します。

- 2 [ファイル] メニューから [ プロジェクトの新規作成 ] を選択し、[ プロジェクト新規作成 ] ダイアロ グボックスを表示します。
- 3 [プロジェクト名] に任意のプロジェクト名を入力し、[対応機種]から使用する接続機器を選択して [OK] をクリックします。
- 4 [ユニット構成設定の確認]ダイアログボックスで[はい]をクリックし、[ユニットエディタ]ウィンドウを表示します。
- 5 [ユニット選択] タブのユニット一覧から「KV-LE20V」を選択し、ユニット配置エリアにドラッグ& ドロップします。
- 6 ユニット配置エリアの「KV-LE20V」を右クリックし、[ユニット設定の表示]を選択します。

7 以下のように設定項目を設定します。

設定項目	設定値
先頭 DM 番号	DM10100
通信速度	100/10 Mbps 自動
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
ポート番号(上位リンク)	8501

- 8 [変換]メニューから [リレー /DM 自動割付]を選択します。
- 9 [ファイル]メニューから [閉じる]を選択し、[ユニットエディタ]ダイアログボックスを表示します。
- **10** [Yes] をクリックします。
- 11 [モニタ / シミュレータ] メニューから [PLC 転送] を選択し、[プログラム転送] ダイアログボック スを表示します。
- 12 [ユニット設定情報]と[プログラム]にチェックをつけて、[実行]をクリックします。設定情報が 転送されます。

これで接続機器の設定は完了です。

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

## 3.6 設定例 6

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1
概要
メーカー (株)キーエンス シリーズ (KV-700/1000/3000/5000 Ethernet ポート イーサネット(TCP)
文字列データモード 2 変更
通信設定
ポート番号 1024 💼 🔽 自動割当
ቃብሬምሳኑ <u>3</u> (sec)
UF51 2 🗄
送信ウェイト 0 🛨 (ms) 初期設定
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>

## 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

👏 個別機器設	定			×
PLC1				
シリーズ シリーズを変更 いるアドレスを	KV-700  した場合  再確認し	0/1000 らは、す ,てくださ(	でに使用 い。	▼ 用されて
IPアドレス ポート番号	192. 8501	168.	0.	1
	×/0)	_	初期	設定
	κ <u>ο</u>		キャンセ	90

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

接続機器の通信設定はラダーソフト (KV STUDIO Ver.4 以降) で設定します。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 ラダーソフトを起動します。

- 2 [ファイル] メニューから [ プロジェクトの新規作成 ] を選択し、[ プロジェクト新規作成 ] ダイアロ グボックスを表示します。
- 3 [プロジェクト名] に任意のプロジェクト名を入力し、[対応機種]から使用する接続機器を選択して [OK] をクリックします。
- 4 [ユニット構成設定の確認]ダイアログボックスで[はい]をクリックし、[ユニットエディタ]ウィンドウを表示します。
- 5 [ユニット選択] タブのユニット一覧から「KV-LE20V」を選択し、ユニット配置エリアにドラッグ& ドロップします。
- 6 ユニット配置エリアの「KV-LE20V」を右クリックし、[ユニット設定の表示]を選択します。

7 以下のように設定項目を設定します。

設定項目	設定値
先頭 DM 番号	DM10100
通信速度	100/10 Mbps 自動
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
ポート番号(上位リンク)	8501

- 8 [変換]メニューから [リレー /DM 自動割付]を選択します。
- 9 [ファイル]メニューから [閉じる]を選択し、[ユニットエディタ]ダイアログボックスを表示します。
- **10** [Yes] をクリックします。
- 11 [モニタ / シミュレータ] メニューから [PLC 転送] を選択し、[プログラム転送] ダイアログボック スを表示します。
- 12 [ユニット設定情報]と[プログラム]にチェックをつけて、[実行]をクリックします。設定情報が 転送されます。

これで接続機器の設定は完了です。

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

## 3.7 設定例 7

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1
概要 <u>接続機器変更</u>
メーカー (株)キーエンス シリーズ (KV-700/1000/3000/5000 Ethernet ポート (イーサネット(UDP)
文字列データモード 2 変更
通信設定
术-卜番号 1024 - 土
タイムアウト 3 <u>士</u> (sec)
ук <del>5</del> 7 <u>2</u>
送信ウェイト 0 🛨 (ms) 初期設定
接続可能台数 32台 <u>機器を追加</u>

## 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設	定			×
PLC1				
シリーズ シリーズを変更 いるアドレスを評	KV-300 した場合 耳確認し	00/5000 には、すて ってください	でに使用 No	▼
IPアドレス	192.	168.	0.	1
ポート番号	8501			=
			初期	設定
0	K( <u>O</u> )		キャンセ	91

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

接続機器の通信設定はラダーソフト (KV STUDIO Ver.4 以降) で設定します。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 ラダーソフトを起動します。

- 2 [ファイル] メニューから [ プロジェクトの新規作成 ] を選択し、[ プロジェクト新規作成 ] ダイアロ グボックスを表示します。
- 3 [プロジェクト名] に任意のプロジェクト名を入力し、[対応機種]から使用する接続機器を選択して [OK] をクリックします。
- 4 [ユニット構成設定の確認]ダイアログボックスで[はい]をクリックし、[ユニットエディタ]ウィンドウを表示します。
- 5 [ユニット選択] タブのユニット一覧から「KV-LE20V」を選択し、ユニット配置エリアにドラッグ& ドロップします。
- 6 ユニット配置エリアの「KV-LE20V」を右クリックし、[ユニット設定の表示]を選択します。

7 以下のように設定項目を設定します。

設定項目	設定値
先頭 DM 番号	DM10100
通信速度	100/10 Mbps 自動
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
ポート番号(上位リンク)	8501

- 8 [変換]メニューから [リレー /DM 自動割付]を選択します。
- 9 [ファイル]メニューから [閉じる]を選択し、[ユニットエディタ]ダイアログボックスを表示します。
- **10** [Yes] をクリックします。
- 11 [モニタ / シミュレータ] メニューから [PLC 転送] を選択し、[プログラム転送] ダイアログボック スを表示します。
- 12 [ユニット設定情報]と[プログラム]にチェックをつけて、[実行]をクリックします。設定情報が 転送されます。

これで接続機器の設定は完了です。

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

## 3.8 設定例 8

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1
概要
メーカー (株)キーエンス シリーズ KV-700/1000/3000/5000 Ethernet ポート イーサネット(TCP)
文字列データモード 2 変更
通信設定
ポート番号 1024 🚍 🔽 自動割当
タイムアウト 3 <u></u> (sec)
yk54  2 芸
送信ウェイト 0 <u></u> (ms) 初期設定
機器別設定
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>
No. 機器名 設定 間接機器 )
X 1 PLC1     Im 5/9-X=KV-3000/5000,IP7FkJz=192.168.000.0017     A

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設	定			×
PLC1				
シリーズ シリーズを変更 いるアドレスを評	KV-300 した場合 再確認し	)0/5000 には、すう ってください	) でに使用 い。	▼
IPアドレス	192.	168.	0.	1
ポート番号	8501			
			初期	設定
0	K( <u>O</u> )		キャンセ	91

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

接続機器の通信設定はラダーソフト (KV STUDIO Ver.4 以降) で設定します。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 ラダーソフトを起動します。

- 2 [ファイル] メニューから [ プロジェクトの新規作成 ] を選択し、[ プロジェクト新規作成 ] ダイアロ グボックスを表示します。
- 3 [プロジェクト名] に任意のプロジェクト名を入力し、[対応機種]から使用する接続機器を選択して [OK] をクリックします。
- 4 [ユニット構成設定の確認]ダイアログボックスで[はい]をクリックし、[ユニットエディタ]ウィンドウを表示します。
- 5 [ユニット選択] タブのユニット一覧から「KV-LE20V」を選択し、ユニット配置エリアにドラッグ& ドロップします。
- 6 ユニット配置エリアの「KV-LE20V」を右クリックし、[ユニット設定の表示]を選択します。

7 以下のように設定項目を設定します。

設定項目	設定値
先頭 DM 番号	DM10100
通信速度	100/10 Mbps 自動
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
ポート番号(上位リンク)	8501

- 8 [変換]メニューから [リレー /DM 自動割付]を選択します。
- 9 [ファイル]メニューから [閉じる]を選択し、[ユニットエディタ]ダイアログボックスを表示します。
- **10** [Yes] をクリックします。
- 11 [モニタ / シミュレータ] メニューから [PLC 転送] を選択し、[プログラム転送] ダイアログボック スを表示します。
- 12 [ユニット設定情報]と[プログラム]にチェックをつけて、[実行]をクリックします。設定情報が 転送されます。

これで接続機器の設定は完了です。

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

## 3.9 設定例 9

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1
概要 <u>接続機器変更</u>
メーカー (株)キーエンス シリーズ (KV-700/1000/3000/5000 Ethernet ポート (イーサネット(UDP)
文字列データモード 2 変更
通信設定
术一下番号 1024
タイムアウト 3 🗮 (sec)
yk5√ <u>2</u>
送信ウェイト 0 <u>士</u> (ms) 初期設定
機器別設定
接続可能台数 32台 <u>機器を追加</u>
No 機器名 設定 間接機器
1     PLC1     Image: Synthetic Syntheti

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設	定			×
PLC1				
シリーズ シリーズを変更 いるアドレスをす	KV-300 した場合 再確認し	)0/5000 には、すう ってください	) でに使用 い。	▼ 見されて
IPアドレス	192.	168.	0.	1
ポート番号	8501			
			初期	設定
C	K( <u>O</u> )		キャンセ	204

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

接続機器の通信設定はラダーソフト (KV STUDIO Ver.4 以降) で設定します。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 ラダーソフトを起動します。

- 2 [ファイル] メニューから [ プロジェクトの新規作成 ] を選択し、[ プロジェクト新規作成 ] ダイアロ グボックスを表示します。
- 3 [プロジェクト名] に任意のプロジェクト名を入力し、[対応機種]から使用する接続機器を選択して [OK]をクリックします。
- 4 [ユニット構成設定の確認]ダイアログボックスで[はい]をクリックし、[ユニットエディタ]ウィンドウを表示します。
- 5 ユニット配置エリアの「KV-5000」を右クリックし、[ユニット設定の表示]を選択します。
- 6 [通信モード]で「イーサネット」を選択し、以下のように設定項目を設定します。

設定項目	設定値
先頭 DM 番号	DM0
通信速度	100/10 Mbps 自動
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
ポート番号(上位リンク)	8501

- 7 [変換]メニューから[リレー/DM 自動割付]を選択します。
- 8 [ファイル]メニューから [閉じる]を選択し、[ユニットエディタ]ダイアログボックスを表示します。
- 9 [Yes] をクリックします。
- 10 [モニタ/シミュレータ]メニューから [PLC 転送]を選択し、[プログラム転送]ダイアログボック スを表示します。
- 11 [ユニット設定情報]と[プログラム]にチェックをつけて、[実行]をクリックします。設定情報が 転送されます。

これで接続機器の設定は完了です。

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

## 3.10 設定例 10

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1
概要 <u>接続機器変更</u>
メーカー /(株)キーエンス シリーズ  KV-700/1000/3000/5000 Ethernet ポート /イーサネット(TCP)
文字列データモード 2 変更
通信設定
ポート番号 1024 🚍 🔽 自動割当
タイムアウト 3 <u>士</u> (sec)
JF5√ 2 🗄
送信ウェイト 0 <u></u> (ms) 初期設定
機器別設定
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>
No. 機器名 設定 間接機器
I PLC1     IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII

### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [ff ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設	定			×
PLC1				
シリーズ シリーズを変更 いるアドレスを配	KV-300 した場合 J確認し	)0/5000 )は、すて )てください	。 でに使用 い。	▼ 用されて
IPアドレス	192.	168.	0.	1
ポート番号	8501			÷
			初期	- 設定
0	к( <u>о</u> )		キャンセ	214

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

接続機器の通信設定はラダーソフト (KV STUDIO Ver.4 以降) で設定します。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 ラダーソフトを起動します。

- 2 [ファイル] メニューから [ プロジェクトの新規作成 ] を選択し、[ プロジェクト新規作成 ] ダイアロ グボックスを表示します。
- 3 [プロジェクト名] に任意のプロジェクト名を入力し、[対応機種]から使用する接続機器を選択して [OK]をクリックします。
- 4 [ユニット構成設定の確認]ダイアログボックスで[はい]をクリックし、[ユニットエディタ]ウィンドウを表示します。
- 5 ユニット配置エリアの「KV-5000」を右クリックし、[ユニット設定の表示]を選択します。
- 6 [通信モード]で「イーサネット」を選択し、以下のように設定項目を設定します。

設定項目	設定値
先頭 DM 番号	DM0
通信速度	100/10 Mbps 自動
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
ポート番号(上位リンク)	8501

- 7 [変換]メニューから[リレー/DM 自動割付]を選択します。
- 8 [ファイル]メニューから [閉じる]を選択し、[ユニットエディタ]ダイアログボックスを表示します。
- 9 [Yes] をクリックします。
- 10 [モニタ/シミュレータ]メニューから [PLC 転送]を選択し、[プログラム転送]ダイアログボック スを表示します。
- 11 [ユニット設定情報]と[プログラム]にチェックをつけて、[実行]をクリックします。設定情報が 転送されます。

これで接続機器の設定は完了です。

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

3.11 設定例 11

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1
概要 <u>接続機器変更</u>
メーカー (株)キーエンス ジリーズ (KV-700/1000/3000/5000 Ethernet ポート (イーサネット(UDP)
文字列データモード 2 変更
通信設定
术一卜番号 1024 🚊
タイムアウト 3 芸 (sec)
<u>ሀኑ5</u> ብ 2 🚊
送信ウェイト 0 🕂 (ms) 初期設定
機器別設定
接続可能台数 32台 <u>機器を追加</u>
No.機器名 設定 iB接機器 iB接機器
I PLC1     Im  >//−ズ=KV-3000/5000,IPアドレス=192.168.000.001,7     Im

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設	定			×
PLC1				
シリーズ シリーズを変更 いるアドレスを評	KV-300 した場合 耳確認し	00/5000 には、すて ってください	でに使用 No	▼
IPアドレス	192.	168.	0.	1
ポート番号	8501			=
			初期	設定
0	K( <u>O</u> )		キャンセ	91

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。
- KV-5500 シリーズを使用する場合は、[シリーズ]から「KV-3000/5000」を選択してください。

接続機器の通信設定はラダーソフト (KV STUDIO Ver.6 以降) で設定します。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 ラダーソフトを起動します。

- 2 [ファイル] メニューから [ プロジェクトの新規作成 ] を選択し、[ プロジェクト新規作成 ] ダイアロ グボックスを表示します。
- 3 [プロジェクト名] に任意のプロジェクト名を入力し、[対応機種]から使用する接続機器を選択して [OK] をクリックします。
- 4 [ユニット構成設定の確認]ダイアログボックスで[はい]をクリックし、[ユニットエディタ]ウィ ンドウを表示します。
- 5 [ユニット選択(1)] タブのユニット一覧から「KV-LE2\*V」を選択し、ユニット配置エリアにドラッ グ&ドロップします。
- 6 ユニット配置エリアの「KV-LE2\*V」をクリックし、[ユニット設定(2)] タブを選択します。

1	以下のように設定項目を設定	こします。

設定項目	設定値
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
DNS サーバ	0.0.0.0

- 8 [変換]メニューから [リレー /DM 自動割付]を選択します。
- 9 [ファイル]メニューから[閉じる]を選択し、[ユニットエディタ]ダイアログボックスを表示します。
- 10 [はい]をクリックします。
- 11 [モニタ/シミュレータ]メニューから [通信設定] [通信設定]を選択し、[通信設定]ダイアロ グボックスを表示します。
- 12 パソコンと機器の接続を確認し、[OK]をクリックします。接続のための通信設定が行われます。
- 13 [モニタ/シミュレータ]メニューから [PLC 転送]を選択し、[プログラム転送]ダイアログボック スを表示します。
- 14 [ユニット設定情報]と[プログラム]にチェックをつけて、[実行]をクリックします。設定情報が 転送されます。

これで接続機器の設定は完了です。

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

## 3.12 設定例 12

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1
概要 <u>接続機器変更</u>
メーカー (株)キーエンス シリーズ KV-700/1000/3000/5000 Ethernet ポート イーサネット(TCP)
文字列データモード 2 変更
通信設定
ポート番号 1024 🛨 🔽 自動割当
タイムアウト 3 <u>-</u> (sec)
yk54 2 🚊
送信ウェイト 0 🛨 (ms) 初期設定
機器別設定
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>
間接機器           No. 機器名         設定         追加
↓ 1 PLC1 III シリーズ=KV-3000/5000,IP7ドレス=192,168,000,001,7

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設	定			×
PLC1				
シリーズ シリーズを変更 いるアドレスを評	KV-300 した場合 再確認し	)0/5000 )は、すて )てください	でに使用 No	▼
IPアドレス	192.	168.	0.	1
ポート番号	8501			<u></u>
			初期	設定
0	K( <u>O</u> )		キャンセ	91

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。
- KV-5500 シリーズを使用する場合は、[シリーズ]から「KV-3000/5000」を選択してください。

接続機器の通信設定はラダーソフト (KV STUDIO Ver.6 以降) で設定します。詳細は接続機器のマニュ アルを参照してください。

1 ラダーソフトを起動します。

- 2 [ファイル] メニューから [ プロジェクトの新規作成 ] を選択し、[ プロジェクト新規作成 ] ダイアロ グボックスを表示します。
- 3 [プロジェクト名] に任意のプロジェクト名を入力し、[対応機種]から使用する接続機器を選択して [OK] をクリックします。
- 4 [ユニット構成設定の確認]ダイアログボックスで[はい]をクリックし、[ユニットエディタ]ウィ ンドウを表示します。
- 5 [ユニット選択 (1)] タブのユニット一覧から「KV-LE2\*V」を選択し、ユニット配置エリアにドラッ グ&ドロップします。
- 6 ユニット配置エリアの「KV-LE2\*V」をクリックし、[ユニット設定(2)] タブを選択します。

/ 以下のように設定	定項目を設定します。
------------	------------

設定項目	設定値
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
DNS サーバ	0.0.0.0

- 8 [変換] メニューから [リレー /DM 自動割付] を選択します。
- 9 [ファイル]メニューから[閉じる]を選択し、[ユニットエディタ]ダイアログボックスを表示します。
- 10 [はい]をクリックします。
- 11 [モニタ/シミュレータ]メニューから [通信設定] [通信設定]を選択し、[通信設定]ダイアロ グボックスを表示します。
- 12 パソコンと機器の接続を確認し、[OK]をクリックします。接続のための通信設定が行われます。
- 13 [モニタ/シミュレータ]メニューから [PLC 転送]を選択し、[プログラム転送] ダイアログボック スを表示します。
- 14 [ユニット設定情報]と[プログラム]にチェックをつけて、[実行]をクリックします。設定情報が 転送されます。

これで接続機器の設定は完了です。

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

## 3.13 設定例 13

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1
概要 <u>接続機器変更</u>
メーカー (株)キーエンス シリーズ (KV-700/1000/3000/5000 Ethernet ポート イーサネット(UDP)
文字列データモード 2 変更
通信設定
术一下番号 1024
タイムアウト 3 🗮 (sec)
yk5√ <u>2</u>
送信ウェイト 0 <u>士</u> (ms) 初期設定
機器別設定
接続可能台数 32台 <u>機器を追加</u>
No 機器名 設定 間接機器
I         I

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設	定			×
PLC1				
シリーズ シリーズを変更 いるアドレスを	KV-300 した場合 再確認し	)0/5000 )は、すて )てください	でに使用 い。	■ 見されて
IPアドレス	192.	168.	0.	1
ポート番号	8501			
			初期	設定
0	K( <u>O</u> )		キャンセ	204

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。
- KV-5500 シリーズを使用する場合は、[シリーズ]から「KV-3000/5000」を選択してください。

接続機器の通信設定はラダーソフト (KV STUDIO Ver.6 以降) で設定します。詳細は接続機器のマニュ アルを参照してください。

1 ラダーソフトを起動します。

- 2 [ファイル] メニューから [ プロジェクトの新規作成 ] を選択し、[ プロジェクト新規作成 ] ダイアロ グボックスを表示します。
- 3 [プロジェクト名] に任意のプロジェクト名を入力し、[対応機種]から使用する接続機器を選択して [OK] をクリックします。
- 4 [ユニット構成設定の確認]ダイアログボックスで[はい]をクリックし、[ユニットエディタ]ウィンドウを表示します。
- 5 ユニット配置エリアの「KV-5500」をクリックし、[ユニット設定(2)] タブを選択します。
- 6 以下のように設定項目を設定します。

設定項目	設定値
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
DNS サーバ	0.0.0.0

- 7 [変換]メニューから [リレー /DM 自動割付]を選択します。
- 8 [ファイル]メニューから [閉じる]を選択し、[ユニットエディタ]ダイアログボックスを表示します。
- 9 [はい]をクリックします。
- 10 [モニタ/シミュレータ]メニューから [通信設定] [通信設定]を選択し、[通信設定]ダイアロ グボックスを表示します。
- 11 パソコンと機器の接続を確認し、[OK]をクリックします。接続のための通信設定が行われます。
- 12 [モニタ/シミュレータ]メニューから [PLC 転送]を選択し、[プログラム転送] ダイアログボック スを表示します。
- 13 [ユニット設定情報]と[プログラム]にチェックをつけて、[実行]をクリックします。設定情報が 転送されます。

これで接続機器の設定は完了です。

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

3.14 設定例 14

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1
概要 <u>接続機器変更</u>
メーカー (株)キーエンス シリーズ KV-700/1000/3000/5000 Ethernet ポート イーサネット(TCP)
文字列データモード 2 変更
通信設定
ポート番号 1024 🛨 🔽 自動割当
タイムアウト 3 <u>-</u> (sec)
yk54 2 🚊
送信ウェイト 0 🛨 (ms) 初期設定
機器別設定
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>
間接機器           No. 機器名         設定         追加
↓ 1 PLC1 III シリーズ=KV-3000/5000,IP7ドレス=192,168,000,001,7

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

<i>衫</i> 個別機器設	定			×
PLC1				
シリーズ シリーズを変更 いるアドレスを評	KV-300 した場合 再確認し	00/500( 3は、す ,てくださ	) でに使) い。	▼
IPアドレス	192.	168.	0.	1
ポート番号	8501			
			初其	<b></b>
0	K( <u>O</u> )		キャンセ	271

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。
- KV-5500 シリーズを使用する場合は、[シリーズ]から「KV-3000/5000」を選択してください。

接続機器の通信設定はラダーソフト (KV STUDIO Ver.6 以降) で設定します。詳細は接続機器のマニュ アルを参照してください。

1 ラダーソフトを起動します。

- 2 [ファイル] メニューから [ プロジェクトの新規作成 ] を選択し、[ プロジェクト新規作成 ] ダイアロ グボックスを表示します。
- 3 [プロジェクト名] に任意のプロジェクト名を入力し、[対応機種]から使用する接続機器を選択して [OK] をクリックします。
- 4 [ユニット構成設定の確認]ダイアログボックスで[はい]をクリックし、[ユニットエディタ]ウィンドウを表示します。
- 5 ユニット配置エリアの「KV-5500」をクリックし、[ユニット設定(2)] タブを選択します。
- 6 以下のように設定項目を設定します。

設定項目	設定値
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
DNS サーバ	0.0.0.0

- 7 [変換]メニューから [リレー/DM 自動割付]を選択します。
- 8 [ファイル]メニューから [閉じる]を選択し、[ユニットエディタ]ダイアログボックスを表示します。
- 9 [はい]をクリックします。
- 10 [モニタ/シミュレータ]メニューから [通信設定] [通信設定]を選択し、[通信設定]ダイアロ グボックスを表示します。
- 11 パソコンと機器の接続を確認し、[OK]をクリックします。接続のための通信設定が行われます。
- 12 [モニタ/シミュレータ]メニューから [PLC 転送]を選択し、[プログラム転送] ダイアログボック スを表示します。
- 13 [ユニット設定情報]と[プログラム]にチェックをつけて、[実行]をクリックします。設定情報が 転送されます。

これで接続機器の設定は完了です。

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。
- 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

# 4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。 <sup>CGP</sup>「3通信設定例」(6ページ)

 MEMO
 ・ 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

 参照:保守 / トラブル解決ガイド「イーサネット設定」

4.1 GP-Pro EX での設定項目

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1	
概要	<u>接続機器変更</u>
メーカー ((株)キーエンス	シリーズ KV-700/1000/3000/5000 Ethernet ポート イーサネット(UDP)
文字列データモード 2 変更	
通信設定	
ポート番号 1024 🛨	
タイムアウト 3 🛨 (sec)	
リトライ 2 🗮	
送信ウェイト 0 🛨 (ms)	初期股定
機器別設定	
接続可能台数 32台 <u>機器を追加</u>	
No推跚名 静宁	間接機器
	2度7月 00/1000 1272 ドレス = 192 168 000 001 ポ (1)
	00/1000/1 / T/V-192.100.00000//K

設定項目	設定内容			
	表示器のポート番号を「1024 ~ 65535」で入力します。[自動割当]にチェック を入れた場合、ポート番号は自動で設定されます。			
ポート番号	MEMO ・ [ 自動割当 ] は [ 接続方法 ] で「イーサネット ( TCP )」を選択した場合のみ設 定できます。			
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1 ~ 127」で入力します。			
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~ 255」で入力します。			
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0 ~ 255」で入力します。			

MEMO

間接機器については GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます

💰 個別機器設	定			×
PLC1				
シリーズ シリーズを変更 いるアドレスを評	KV-700 した場合 耳確認し	/1000 は、すて てください	でに使用 No	見ざれて
IPアドレス	192.	168.	0.	1
ポート番号	8501			
			初期	設定
0	K( <u>O</u> )		キャンセ	91 I

設定項目	設定内容		
シリーズ	接続機器のシリーズを選択します。		
	接続機器の IP アドレスを設定します。		
IP アドレス	MEMO • IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。 • 同ーネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。		
	接続機器のポート番号を「1024 ~ 65535」で入力します。		
ポート番号	<ul> <li>■ 要</li> <li>● 1 つのポート番号に接続できる表示器は1台のみです。</li> </ul>		

## GP3000H シリーズを使用する場合

使用する表示器が GP3000H シリーズの場合は以下の機器設定ダイアログボックスが表示されます。 通信する接続機器を GP3000H 専用変換アダプタの ID 番号 (ロータリスイッチ) で切り替える場合 は、リスト登録を使用する必要があります。

• <リスト登録を使用しない場合>

💰 個別機器設定	Ē			×
PLC1				
シリーズ	KV-700/1000	•	1	
シリーズを変更 を再確認してく	。 した場合は、すで( だざい。	こ使用されて	いるアドレス	
🗆 リスト登録		エクスポート	トーインポー	- h
IPアド	<i>ν</i> λ	ポート番号		
▶ 192.16	8.000.001	8501		
リスト登録を使 変換アダプタを	用する場合は[本 「使用する」に設定	体設定II操 Eしてください。	作設定]内の	)
			初期設定	Ê
	0	<u></u>	キャンセル	

設定項目	設定内容		
シリーズ	接続機器のシリーズを選択します。		
リスト登録	[リスト登録]のチェックをはずします。		
	接続機器の IP アドレスを設定します。		
IP アドレス	МЕМО		
	<ul> <li>IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。</li> <li>同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。</li> </ul>		
	接続機器のポート番号を「1024 ~ 65535」で入力します。		
ポート番号	<b>重要</b> ● 1つのポート委告に接続できる表示器は1台のみです		
	 • 1 つのポート番号に接続できる表示器は 1 台のみです。		

<リスト登録を使用する場合>

💰 (B	別機器設定	Ē				x
PLC1	1					
シリ シリ シリ を挿	ーズ ーズを変更 再確認してく	KV-700/1000 した場合は、すでに だざい。	使用され	<b>・</b> にいる	アドレス	
☑	リスト登録		エクスポ	<u>-</u> F	<u>インポート</u>	_
	ID	IPアドレス		ポート	·番号	1
	0	192.168.000.001		8501		
•	1	192.168.000.002		8501		
*						
リス変換	ト登録を使 奥アダプタを	用する場合は[本作 「使用する」に設定	▶設定Ⅲ してくださ(	栗作設 ,ヽ。	定内の	
				1	初期設定	
		OK(	<u>0</u> )	+	ゃンセル	]

設定項目	設定内容			
シリーズ	接続機器のシリーズを選択します。			
リスト登録	[リスト登録] にチェックを付けます。 重要 • ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[本体設定]-[操作設定]タブ を選択し、[変換アダプタ]の「使用する」にチェックを付けてください。			
エクスポート	リストの情報をカンマ区切りの CSV ファイルでエクスポートします。 <sup>②プ</sup> 「 機器設定のエクスポート手順」(38 ページ)			
インポート	カンマ区切りの CSV ファイルで記述されたリストの情報をインポートします。 <sup>②</sup> 「 機器設定のインポート手順」(38 ページ)			
ID	GP3000H 専用変換アダプタの ID 番号(ロータリスイッチ)を「0 ~ 255」で入力し ます。			
IPアドレス	接続機器の IP アドレスを設定します。 MEMO • IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。 • 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。			
ポート番号	接続機器のポート番号を「1024 ~ 65535」で入力します。			

機器設定のエクスポート手順

- 1 [個別機器設定]ダイアログボックスの[エクスポート]をクリックし、[エクスポート]ダイアログ ボックスを表示します。
- 2 保存先ファイル名を入力し、[保存]をクリックします。

機器設定のインポート手順

- 1 [個別機器設定]ダイアログボックスの[インポート]をクリックし、[インポート]ダイアログボック スを表示します。
- 2 CSV ファイルを選択し、[開く]をクリックします。

## 4.2 オフラインモードでの設定項目

 MEMO
 ・ オフラインモードへの入り方や操作方法は保守 / トラブル解決ガイドを参照してく ださい。
 参照:保守 / トラブル解決ガイド「オフラインモードについて」

通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチしま す。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。

通信設定	機器設定			
KV-700/1000/3000/50	000 イーサネット		[UDP]	Page 1/1
	ポート番号	○ 固定	<ul> <li>● 自動</li> </ul>	-1
			1024 💌 🔺	
	タイムアウト(®) リトライ		3 🗸 🔺	
	送信ウェイト(ms)		0 🔻 🔺	
	終了		戻る	2008/01/08 19:13:56

設定項目	設定内容			
ポート番号	表示器のポート番号を設定します。 UDP 接続では [ 固定 ] [ 自動 ] の選択に関わらず、入力したポート番号が割り当て られます。 TCP 接続では [ 固定 ] [ 自動 ] のいずれかを選択します。[ 固定 ] を選択した場合 は表示器のポート番号を「1024 ~ 65535」で入力します。[ 自動 ] を選択した場 合は入力した値に関わらず自動的に割り当てられます。			
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1 ~ 127」で入力します。			
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~ 255」で入力します。			
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0 ~ 255」で入力します。			

## 機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。



設定項目	設定内容			
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [PLC1])			
シリーズ	接続機器のシリーズを表示します。			
IPアドレス	接続機器の IP アドレスを設定します。  MEMO   ・ IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。  ・ 同ーネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。			
ポート番号	接続機器のポート番号を「1024 ~ 65535」で入力します。			

## GP3000H シリーズを使用する場合

通信設定	機器設定			
KV-700/1000/300	0/5000 Ethernet		[UDP]	Page 1/1
接続機	器名 PLC	1		-
	シリーズ IPアドレス ポート番号 リスト登録	KV-700/10 192 168 OFF	00 0 1 8501 - A	J
	終了		戻る	2008/10/14 06:15:21

設定項目	設定内容		
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [PLC1])		
シリーズ	接続機器のシリーズを表示します。		
	接続機器の IP アドレスを設定します。		
IPアドレス	MEMO • IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。 • 同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。		
	接続機器のポート番号を「1024 ~ 65535」で入力します。		
ポート番号	重要		
	• 1 つのポート番号に接続できる表示器は 1 台のみです。		
	リスト登録の設定を表示します。		
リスト登録	МЕМО		
	• オフラインモードではリスト登録の設定内容を表示、変更できません。		

# 5 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。

5.1 KV-700 シリーズ

**□** はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
入力リレー				
出力リレー	00000 - 59915	000 - 599		
内部補助リレー				
コントロールリレー	CR0000 - CR3915	CR00 - CR39		
タイマ(接点)	T000 - T511			
カウンタ(接点)	C000 - C511		-	
高速カウンタコンパ レータ(接点)	CTC0 - CTC3			1
タイマ(設定値)		TS000 - TS511		2
カウンタ(設定値)		CS000 - CS511		2
タイマ(現在値)		TC000 - TC511		2
カウンタ(現在値)		CC000 - CC511		2
データメモリ		DM00000 - DM39999		<u>ві</u> т <b>15</b> 3
テンポラリデータメ モリ		TM000 - TM511		<u>,</u> ∎ ,15
コントロールメモリ		CM0000 - CM3999		віt <b>15</b>
デジタルトリマ		TRM0 - TRM7		1 2
高速カウンタ(現在値)		CTH0 - CTH1		2
高速カウンタコンパ レータ(設定値)		CTC0 - CTC3		2

1 書込み不可

2 32 ビットデバイスです。

3 DM20000から DM39999を使用する場合は拡張メモリを装着する必要があります。

 MEMO
 ・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。
 参照: GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専 用エリア)」
 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

## 5.2 KV-1000 シリーズ

## **□** はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
入力リレー				1
出力リレー	00000 - 59915	000 - 599		1
内部補助リレー				1
内部補助リレー	MR00000 - MR99915	MR000 - MR999		
ラッチリレー	LR00000 - LR99915	LR000 - LR999		
コントロールリレー	CR0000 - CR3915	CR00 - CR39		
タイマ(接点)	T0000 - T3999			
カウンタ(接点)	C0000 - C3999		-	
高速カウンタコンパ レータ(接点)	CTC0 - CTC3			2
タイマ(設定値)		TS0000 - TS3999		3
カウンタ(設定値)		CS0000 - CS3999		3
タイマ(現在値)		TC0000 - TC3999		3
カウンタ(現在値)		CC0000 - CC3999		3
データメモリ		DM00000 - DM65534		віt <b>15</b>
拡張データメモリ		EM00000 - EM65534	Ţ	<sub>ві t</sub> 15
拡張データメモリ		FM00000 - FM32766		<sub>ві т</sub> 15
テンポラリデータメ モリ		TM000 - TM511	[L / H]	<u>₿;</u> ,15]
コントロールメモリ		CM00000 - CM11998		B i t <b>15</b> ]
インデックスレジス タ		Z01 - Z12		<mark>віt<b>15</b>] 4</mark>
デジタルトリマ		TRM0 - TRM7		2 3
高速カウンタ(現在 値)		CTH0 - CTH1		3
高速カウンタコンパ レータ(設定値)		CTC0 - CTC3		3

1 KV-1000 では R000 から R599 (R00000 から R59915)の範囲で示されますが、表示器では 000 から 599 (00000 から 59915)の範囲で示されます。

- 2 書込み不可
- 3 32 ビットデバイスです。

4 Z11 および Z12 は、接続機器のシステムが使用しているため書込みできません。

 MEMO
 ・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。
 参照: GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専 用エリア)」
 ・表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

# 5.3 KV-3000/5000/5500 シリーズ

## **□** はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス		ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
入力リレー	-				
出力リレー	-	R00000 - R99915	R000 - R999		
内部補助り	1レー				
リンクリレ	/-	B0000 - B3FFF	B000 - B3FF	]	
内部補助り	1レー	MR00000 - MR99915	MR000 - MR999		
ラッチリレ	/-	LR00000 - LR99915	LR000 - LR999		
コントロ-	・ルリレー	CR0000 - CR3915	CR00 - CR39		
ワークリレ	/—	VB0000 - VB3FFF	VB000 - VB3FF		
タイマ (接	点)	T0000 - T3999			
カウンタ(	接点)	C0000 - C3999		-	
高速カウン レータ(接	/ タコンパ 点)	CTC0 - CTC3			1
タイマ ( 設	定值)		TS0000 - TS3999		2
カウンタ(	設定値)		CS0000 - CS3999		2
タイマ(現	l在值 )		TC0000 - TC3999		2
カウンタ(	現在値)		CC0000 - CC3999		2
データメモ	IJ		DM00000 - DM65534		<u>ві</u> t <b>15</b>
拡張データ	7メモリ		EM00000 - EM65534	Ţ	<u>ві т</u> 15)
	現バンク		FM00000 - FM32767		<u>ві т</u> 15)
ファイル レジスタ	シリアルナ ンバーシス テム		ZF000000 - ZF131071		
テンポラリ リ	リデータメモ		TM000 - TM511		<sub>ві т</sub> 15
コントロ-	ールメモリ		CM00000 - CM05999		<u>ві t<b>15</b></u>
リンクレシ	ジスタ		W0000 - W3FFF		Bit F
ワークメモ	IJ		VM00000 - VM59999		<u>ві т</u> 15
インデックスレジスタ			Z01 - Z12		2 3
デジタルトリマ			TRM0 - TRM7		1 2
高速カウンタ(現在値)			CTH0 - CTH1		2
高速カウン レータ(設	∨タコンパ 注定値)		CTC0 - CTC3		2

\_\_\_\_\_ GP-Pro EX 機器接続マニュアル 1 書込み不可

- 2 32 ビットデバイスです。
- 3 Z11 および Z12 は、接続機器のシステムが使用しているため書込みできません。

MEMO	<ul> <li>システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。</li> </ul>
	参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専 用エリア )」
	• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
	☞「表記のルール」

# 6 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードはデータ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレ ス」を設定している場合に使用します。

6.1 KV-700 シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入力リレー			
出力リレー		0080	ワードアドレス
内部補助リレー			
コントロールリレー	CR	008A	ワードアドレス
タイマ (設定値)	TS	0062	ダブルワードアドレス
カウンタ(設定値)	CS	0063	ダブルワードアドレス
タイマ (現在値)	TC	0060	ダブルワードアドレス
カウンタ(現在値)	CC	0061	ダブルワードアドレス
データメモリ	DM	0000	ワードアドレス
テンポラリデータメ モリ	TM	0001	ワードアドレス
コントロールメモリ	СМ	0002	ワードアドレス
デジタルトリマ	TRM	0064	ダブルワードアドレス
高速カウンタ (現在 値)	СТН	0065	ダブルワードアドレス
高速カウンタコンパ レータ(設定値)	СТС	0066	ダブルワードアドレス

6.2 KV-1000 シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入力リレー			
出力リレー		0080	ワードアドレス
内部補助リレー			
内部補助リレー	MR	0082	ワードアドレス
ラッチリレー	LR	0084	ワードアドレス
コントロールリレー	CR	008A	ワードアドレス
タイマ(設定値)	TS	0062	ダブルワードアドレス
カウンタ(設定値)	CS	0063	ダブルワードアドレス
タイマ (現在値)	TC	0060	ダブルワードアドレス
カウンタ(現在値)	CC	0061	ダブルワードアドレス
データメモリ	DM	0000	ワードアドレス
拡張データメモリ	EM	0010	ワードアドレス
拡張データメモリ	FM	0011	ワードアドレス
テンポラリデータメ モリ	ТМ	0001	ワードアドレス
コントロールメモリ	СМ	0002	ワードアドレス
インデックスレジス タ	Z	0003	ワードアドレス
デジタルトリマ	TRM	0064	ダブルワードアドレス
高速カウンタ (現在 値)	СТН	0065	ダブルワードアドレス
高速カウンタコンパ レータ(設定値)	СТС	0066	ダブルワードアドレス

# 6.3 KV-3000/5000/5500 シリーズ

デバイス		デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入力リレー				
出力リレー		R	0080	ワードアドレス
内部補助リレ-	_			
リンクリレー		В	008B	ワードアドレス
内部補助リレ-	-	MR	0082	ワードアドレス
ラッチリレー		LR	0084	ワードアドレス
コントロール・	ノレー	CR	008A	ワードアドレス
ワークリレー		VB	008C	ワードアドレス
タイマ(設定	直)	TS	0062	ダブルワードアドレス
カウンタ (設)	定値)	CS	0063	ダブルワードアドレス
タイマ(現在(	直)	TC	0060	ダブルワードアドレス
カウンタ(現れ	<b>车値</b> )	CC	0061	ダブルワードアドレス
データメモリ		DM	0000	ワードアドレス
拡張データメ	EIJ	EM	0010	ワードアドレス
7 - 4 - 1	現バンク	FM	0011	ワードアドレス
ファイルレ ジスタ	シリアルナンバーシ ステム	ZF	0012	ワードアドレス
テンポラリデ・	ータメモリ	ТМ	0001	ワードアドレス
コントロールメモリ		СМ	0002	ワードアドレス
リンクレジスタ		W	0013	ワードアドレス
ワークメモリ		VM	0014	ワードアドレス
インデックスレジスタ		Z	0067	ダブルワードアドレス
デジタルトリマ		TRM	0064	ダブルワードアドレス
高速カウンタ	(現在値)	СТН	0065	ダブルワードアドレス
高速カウンタ:	コンパレータ(設定値)	CTC	0066	ダブルワードアドレス

# 7 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のよう に表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容
番号	エラー番号
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器 の名称です。(初期値 [PLC1])
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。
エラー発生箇所	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。 MEMO • IP アドレスは「IP アドレス (10 進数):MAC アドレス (16 進数)」のように表示 されます。 • デバイスアドレスは「アドレス:デバイスアドレス」のように表示されます。 • 受信エラーコードは「10 進数[16 進数]」のように表示されます。

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書込み要求でエラー応答を受信しました (受信エラーコード:2[02H])」

MEMO	• 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
	<ul> <li>・ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守/トラブル解決ガイド」の「表</li> </ul>
	示器で表示されるエラー」を参照してください。

## 接続機器特有のエラーコード

エラーコード	エヨー中容
(HEX)	エノー内谷
E0	接続機器でデバイス定義していないデバイスにアクセスしました。 <sup>1</sup>
E1	CPU ユニットでサポートされないコマンドが送られました。
E4	書込み不可デバイスに書込みを行ないました。

1 タイマ(接点/現在値/設定値)、カウンタ(接点/現在値/設定値)、高速カウンタ、 高速カウンタコンパレータ(設定値)に書込みを行なう場合は、あらかじめラダープ ログラムでの設定が必要です。

エラー番号	エラーメッセージ	内容
RHxx128	(Node Name): ID=( アダプタ ID) はリストに登録されていません	GP3000H 専用変換アダプタの ID 番号がリストに登録されていない場合、表示器の電源を ON にするとこのメッセージを表示します。GP3000H 専用変換アダプタの ID 番号をリストに登録してください。
RHxx129	(Node Name): 変換アダプタが接 続されていないか、変換アダプ タを使用しない設定になってい ます。接続または設定を確認し てください。	GP3000H 専用変換アダプタが接続されていないか、 [変換アダプタ]の[使用する]にチェックが付い ていない場合、「リスト登録」にチェックを付ける とこのメッセージを表示します。GP3000H 専用変 換アダプタの接続または設定を確認してください。

# 接続機器特有のエラーメッセージ